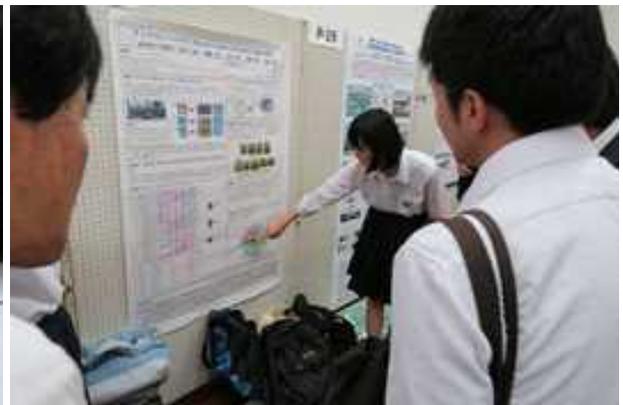
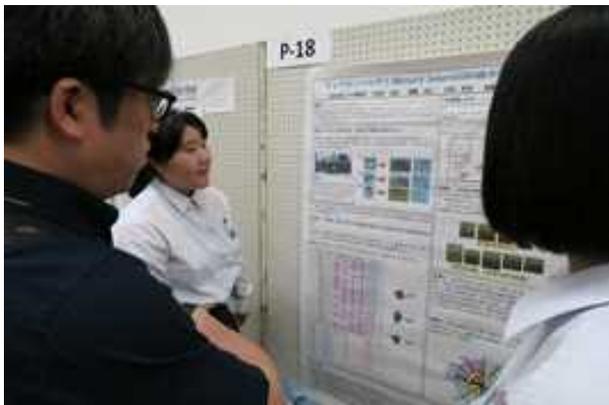


超異分野学会益田フォーラム2019

ポスター特別賞受賞 7月25日

今年で2回目の実施となる「超異分野学会益田フォーラム2019」がグラントワで開催されました。超異分野学会益田フォーラムは、益田圏域の課題解決を目指して、県内外の研究者や情熱ある人たちを巻き込みながら新たな研究プロジェクトを推進するために始められたとのこと。これらの活動により、「地域住民の健康を実現するヘルステックモール構想」、「放棄林地を活用した放牧畜産」、「未利用資源の有効利用による農業の高付加価値化」という3つのプロジェクトが動き出していると聞きました。フォーラム当日のポスターセッションでは、東は宇都宮大学、西は鹿児島大学からの発表がありました。生徒は、全国の大学の先生方や研究所の方々に混じって発表しました。益田高校からは、課題研究で取り組んで来た生物班が参加しました。生物班の研究は、「益田の鴨島はまぐり」を題材とした研究です。「**チョウセンハマグリ (*Meretrix lamarckii*) の砂中行動の解明**」というテーマで発表しました。発表20テーマのうち、最優秀ポスター賞に次ぐ、ポスター特別賞を頂きました。副賞として超異分野学会本大会の招待券を頂き、発表した生徒達は感激していました。来年も開催されるようです。1、2年生も是非、自分たちの研究を発表して大学の先生方から学んで欲しいと思います。



「大学の先生方や研究者の方々に質問をして頂き、研究の視点を含めて勉強になりました。」・・・生徒の感想より



クローズセッションでの発表



表彰式 ポスター特別賞の受賞



一人ずつ受賞のコメントを述べました。